

### 3. 基本目標及び基本的方向性に基づく施策・取組

#### (1) 基本目標 1

地域産業と地域ブランド力に磨きをかけ、  
泉大津市で働き住み続けたいと思う市民の希望をかなえる。

#### 【基本的方向性】

本市の人口構造は、幼児と20代から30代の層において転出超過傾向が顕著で、全体の転出超過は2013年度と比較すると緩やかになってきているものの社会動態による減少が継続しています。

しかし、本市には、地元に対する愛着が強く、地元での定住志向が強い若者が多いことに加え、国内生産トップのシェアを誇る毛布産業や、数多くの企業が立地する港湾エリアを有することなどの強みがあります。

この強みを活かし、地元で働きたい若者や、Uターン（Iターン、Jターン）を希望する若者が市内で働くことができるように、雇用先となる企業を増やし、また創業の意欲を持った人がチャレンジしやすい環境を整備するとともに、各企業での働きやすい環境づくりを促進します。

#### 【数値目標】

	指標	現状値	目標値
目標値	(市内企業の従業者数)	H28:29,108人	R6:29,300人
	勤めている職場の労働環境が整っていると思う市内で働いている市民の割合	H30:59.1%	R6:60.0%

※以下数値目標、重要業績評価指標（KPI）の太字表記は、第4次泉大津市総合計画の成果指標から引用した指標・値であることを表します。

## 【施策と取組内容】

### ① 雇用を増やす

多様な主体が集まり課題を解決するためのアイデア・産業が生まれるまちづくりを進め、イノベーションが生まれることによって新たな投資を呼び込み、そこに人が集まる好循環を生み出すことで、市民の雇用を促進します。

また、就職支援等により就職希望者と市内企業を繋ぐとともに、市内企業における人材の確保・育成を促進します。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
企業誘致件数	H29:13件	R6:16件
（港湾エリア誘致企業による市民雇用者数）	（H29:249人）	（R6:275人）
（誘致企業による市民雇用者数）	—	—
就職等に関するイベント・セミナー実施件数：参加者数	H30:2件、95人	R6:2件、110人
ワンストップ窓口を含めた創業相談利用件数	H30:51件	R6:55件

### ■取組内容

- ・企業誘致にむけたPRや環境の整備
- ・誘致企業による市民雇用の促進、市民への情報提供の実施
- ・就職に関する相談会・イベント等の開催
- ・人材の育成・確保・環境整備
- ・新規開業の促進、企業創業支援ワンストップ窓口の充実
- ・「官民連携」「市民共創」の具現化をめざし、社会課題や地域課題を解決するソーシャルビジネス等の事業化へ向けた研究

## ②働きやすい環境や誰もが活躍できる環境をつくる

泉大津市内の企業で働きたい、働き続けたいと思う方々の希望をかなえるために、市内企業における働きやすい職場環境づくりを支援します。そのためには、市民及び市内企業への就職を望む方々への支援や勤労者福祉対策等の他に、子育て世代を対象に、安心して出産や子育てできる就労環境の整備に取り組む必要があります。

そこで、労働に関する相談体制の強化や、市内企業における就労環境改善の啓発、労働者福祉に関する啓発や情報提供を推進したところ、アンケートの結果、「子どもを産み育てやすいまちだと思う」「お勤めの職場は、労働環境が整っていると思う」の設問に対し、それぞれ平成 26 年度から 6.6%、16.2%上昇しました。引き続き取組を進めるとともに、多様な人が活躍でき安心して働ける環境づくりに取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
就労相談人数・就職に繋がった人数	H29:11人、3人	R6:20人、6人
子育て世代の女性の再就職を支援するセミナー受講者数	H30:20人	R6:30人
労働に関する講座の参加者数	H30:18人	R6:30人

### ■取組内容

- ・労働相談の充実
- ・多様な就労相談
- ・職場環境改善の啓発や雇用の安定に向けた支援
- ・育児休業等の啓発・情報提供の実施
- ・商工等団体・企業等が行う勤労者福祉対策の支援
- ・ハローワーク等との連携による雇用機会の均等等に関する啓発・情報提供の実施

### ③地域の産業・商業を興す

地場産業である繊維産業や、地域に密着した既存産業のブランド化やPR強化などによる競争力の向上に取り組むとともに、ポートセールス活動\*等による港湾の利用を促進します。また、商業者と商業関連組織、行政の連携により、地域住民等のニーズに合った商業振興に取り組めます。

また、2025年万博をチャンスととらえ、集まるアイデア、人材を活かしイノベーションが起こる環境を作り、市民共創、官民連携で社会課題や地域課題を解決するソーシャルビジネス等の事業化へ向けた取組を行います。

※ポートセールス活動：大阪府が管理・運営する堺泉北港の利用促進を通じて地域経済の活性化を進めるため、国内外の関連機関、企業及び団体などを対象に、各種航路の誘致や貨物の集荷など、利活用を働きかけるセールス活動のこと。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
泉大津港への入港実績（純t数）	H29:362万4千トン	R6:367万トン
展示会開催支援による販路開拓件数	H30:14件	R2～R6:計60件
ポートセールスによる情報交換・交流等連携実績	H30:4件	R2～R6:計30件

#### ■取組内容

- ・販路拡大の推進
- ・ポートセールス活動の実施
- ・新商品・新技術開発の推進
- ・産業集積を活かした地域産業の振興
- ・新たな「地域ブランド」の形成・確立
- ・市内外に向けた地域産業のPRの促進
- ・商業関連団体が実施する商業活性化事業への支援
- ・商店街等が行う地域資源を活用した取組の支援
- ・キャッシュレス化に適応する地域の環境整備の推進支援
- ・「市民共創」「官民連携」の具現化をめざし、社会課題や地域課題を解決するソーシャルビジネス等の事業化へ向けた研究(再掲)

## (2) 基本目標 2

地域資源を活用した取組となんでも近い泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することにより、様々な交流を生み出す。

### 【基本的方向性】

本市ならではの地域資源を活かした取組と、関西国際空港や大阪都心部との距離の近さ及び、市民や団体・事業者と行政の間の距離の近さという、本市の「なんでも近い」という強みを活かし、市民、団体・事業者、行政等が積極的に本市や泉州地域の魅力を情報発信することで、市内・市外を問わず、様々な人々との交流を拡大していきます。

### 【数値目標】

	指標	現状値	目標値
目標値	市内の鉄道駅における非定期利用者の1日あたりの乗降客人数	H29:15,711人	R6:16,700人
	市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合	H30:32.6%	R6:40.0%

### 【施策と取組内容】

#### ①泉大津らしさを活かした交流を促す

毛布・ニット・毛織物に代表される本市の特産品や、見学可能な繊維工場、地域資源を生かした体験型観光、泉大津フェニックス※（臨海部埋立地）、各種文化財等の地域資源を活用し、観光PRやイベントの誘致などに取り組みとともに、泉州地域9市4町と商工会議所や民間企業とで設立した地域連携DMOによるプロモーションを行い、泉大津の魅力を泉州地域内外にPRします。

※泉大津フェニックス：本市汐見沖に位置し、大阪湾を埋め立てた土地であり、工業用地やイベント会場等として活用されている。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
各イベントの集客数（対象が市民限定のイベント除く）	H30:66,500人	R6:66,500人
池上曾根弥生学習館・織編館の利用者数	H29:28,713人	R6:31,000人
休日に泉大津市に滞在した大阪府外の居住者数（6月・休日14時）	R1:1671人	R6:2000人

## ■取組内容

- ・ 泉大津フェニックスなどの港湾機能の利用促進
- ・ 公共交通機関との連携による観光資源をめぐるイベントの推進
- ・ 繊維製品製造工場や体験型施設などの見学や体験型観光の推進
- ・ 外国人観光客PRの推進
- ・ 文化財活用に向けた人材育成の推進
- ・ 泉州地域全域での観光施策の推進

## ②泉大津の魅力を広く伝える

市民・団体・事業者・行政等が、周辺の市町等とも連携しながら地域の魅力をPRし、泉州地域の活性化、国内外における泉州ブランドの確立に取り組みます。また、観光に関する情報や市の魅力の発信に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
市HPへのアクセス数	H29:81万8千件	R6:85万件
ふるさと納税返礼品数	236種類 (H31.3)	R6:350種類

## ■取組内容

- ・ 学生やNPOとの連携による地域資源の発掘及び情報発信
- ・ 観光の促進及びPRツールの充実・活用
- ・ イベントにおける市のPRの実施
- ・ 関西国際空港における泉州地域のPR
- ・ 泉州全域での観光の推進
- ・ 市民・学生・企業等と連携した情報収集・発信体制の構築
- ・ 新しいSNSの調査・研究と更なる推進
- ・ ふるさと納税事業における返礼品（地場産品）による魅力発信

### (3) 基本目標3

地域ぐるみの助け合いやつながりで、結婚・出産・子育てを支援するとともに、就学前教育・学校教育を充実させ、若い世代の市民が魅力を感じる環境をつくる。

#### 【基本的方向性】

子どもを産み・育てやすいまちの実現に向けて、出産や保育に要する費用などの経済的な負担の軽減だけでなく、地域ぐるみの助け合いやつながりによる支援を進めるとともに、就学前教育・学校教育の内容や施設の充実を図っていきます。

#### 【数値目標】

	指標	現状値	目標値
目標値	子どもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合	H30:68.5%	R6:80.0%
	小中学校教育が充実していると感じている市民の割合	H30:58.7%	R6:72.0%

#### 【施策と取組内容】

##### ① 地域ぐるみで子育てを支援する体制をつくる

第1期の泉大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定時の調査の結果から家事や育児についての日常的なサポートを期待していることが伺えたことから身近に手助けしてくれる人がいない子育て世帯を孤立させないために、地域の様々な人々や機関が相互に連携し、地域ぐるみで協力し合い、子育てを支援していく体制づくりを進めてきました。これまでの取組を引き続き進め子どもたちが健全に育まれるよう、内容の充実も図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
子育て相談件数	H30:1,642件	R6:1,900件
バーチャル市役所総合案内の利用率	—	R6:67.1%

## ■取組内容

- ・地域子育て支援拠点の整備と事業の充実
- ・一時預かり事業・緊急一時預かり事業の拡充
- ・子育てに関する情報発信・相談サービスの充実
- ・子育て世帯への経済的支援の拡充
- ・コミュニティスクールの充実・促進
- ・妊娠・出産・子育てにおけるシームレス体制（切れ目のない支援体制）の構築
- ・子どもと女性にやさしい医療の推進
- ・ICTを活用した子育て支援

## ②子育て環境を充実させる

子育て環境の充実に向けて、安全・安心で快適な施設の整備とともに、就学前から義務教育、さらに地域の高等学校などへの円滑な接続を図り、多様化する教育ニーズに応じた教育プログラムの整備等を進めます。また、身近なところで読書ができる環境を整備し、本に親しむ子どもを増やすとともに、グローバルな人材に必要なスキルを培える機会を提供します。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
保育所・認定こども園の待機児童数（求職者含む）	H29:12人	R6:0人
「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した生徒の割合	H31:79.2%	R6:88.0%
読書が好きな児童生徒の割合	H30:75%（小） 65%（中）	H36:85%（小） 75%（中）

## ■取組内容

- ・待機児童解消に向けた施設利用定員の拡大
- ・認定こども園の設置の促進
- ・教育・保育施設の充実
- ・子どもの居場所づくりの充実
- ・授業づくりの推進
- ・多様な学習活動に対応する設備・教材等の整備・充実
- ・保・幼・認・小の連続性に配慮したプログラムの推進
- ・グローバル人材育成研修の実施
- ・読書環境の整備



#### (4) 基本目標 4

地域が一体となった取組や支援などにより、安全・安心な暮らしと快適な住環境をつくる。

##### 【基本的方向性】

まちの安全性の高さや、安心して暮らせるまちの環境の良さなどは、居住地選択において極めて重要視される事項です。

地域が一体となって災害、犯罪、事故に備えることで地域の安全性の向上を図るとともに、複合的な課題へ対応するため、地域の誰もが参画し、地域ぐるみで支援を行う地域共生社会の実現をめざし、地域医療・地域福祉サービスを充実させ、市民の健康づくりや病気にならない身体づくりを支援します。

また、アンケートの結果において、緑や公園が少ないといった意見が多くみられたことから、緑地整備などによる住環境の向上に関する取組を進めていきます。

そして、市民自らがより良いまちづくりのため自主的に活動できる環境を整えるために、コミュニティ活動の活性化を支援していきます。

##### 【数値目標】

	指標	現状値	目標値
目標値	防災対策が充実し安心だと感じている市民の割合	H30:63.0%	R6:70.0%
	地域の中で人のつながりがあると思う市民の割合	H30:63.5%	R6:75.0%
	良好な住環境が整っていると感じる市民の割合	H30:73.1%	R6:80.0%
	健康の維持・増進に努めている市民の割合	H30:76.6%	R6:80.0%

## 【施策と取組内容】

### ①安全・安心に暮らせる環境をつくる

「自助」「共助」の取組を支援し、防犯・防災に対して、市民一人ひとりの意識を啓発するとともに、地域が一体となって安全性の向上に取り組むことで、誰もが安全・安心に暮らせるまちをつくりまします。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
防犯カメラ設置件数	H30:248 件	R6:278 件
防災訓練参加人数	R1:1,070 人	R6:1,500 人
<b>自主防災組織結成率</b>	<b>R1:73.1%</b>	<b>R6:78.0%</b>
声かけ活動・パトロール活動回数	H29:70 回	R6:80 回

#### ■取組内容

- ・協働による安全・安心への取組の促進
- ・防犯カメラの設置促進
- ・地域防犯活動の推進
- ・防災・防犯に関する情報発信の充実
- ・公的防災体制の整備と連携の推進
- ・住民への情報伝達手段の拡充
- ・自治体や民間企業との災害応援協定の充実と推進
- ・避難行動要支援者の支援プランの推進
- ・自主防災組織活動の活性促進
- ・防災教育の推進
- ・地域における青少年のサポート活動の充実
- ・就学前施設や小中学校における安全教育の推進
- ・最新の消防設備、消防車両の整備

## ② 地域医療・福祉を充実させる

市立病院と他の医療機関との連携体制の強化により医療レベルの向上、関係機関間の連携強化などにより、女性、子どもにやさしい地域医療サービスを提供します。

また、地域の高齢者が安心して元気に生活できるように、地域福祉を担うコミュニティソーシャルワーカー\*などの育成を推進するとともに、住民が主体的に福祉の活動に参画できる環境を整備し、また、包括的な相談・支援体制の構築に関する取り組みを推進します。

※コミュニティソーシャルワーカー（CSW）：地域において、支援を必要とする人々の生活圏や人間関係等環境面を重視した援助や、公的機関へのつなぎを行うスタッフ。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
高齢者（70歳以上）の地域活動等への参加率	H28:24.4%	R6:35.0%
福祉サービスに関する相談件数	H29:3,450件	R6:3,500件
検診ウェブ予約システム登録アカウント数	H30:661件	R6:3,000件
小地域ネットワーク活動の推進・支援（地域の拠点づくり）ふれあい喫茶参加者数	H30:1,407人	R6:1,900人

### ■取組内容

- ・子どもと女性にやさしい医療の推進（再掲）
- ・近隣市町村との病診・病病連携\*による医療体制の充実
- ・健康づくりや健診に関する情報発信の充実
- ・健康管理についての相談支援体制の充実
- ・健康診査を受診しやすい環境の整備
- ・ボランティア活動の推進・支援
- ・距離の近さが生み出すネットワークを活かした地域力の強化
- ・老人集会所などを活用した「つどいの場」の提供
- ・地域サロンなどの地域活動への参画と活動団体の発展支援
- ・地域住民による見守り・安否体制の整備
- ・コミュニティソーシャルワーカーなど専門員の育成と活動の推進
- ・制度・分野を超えた包括的につながる仕組みづくり
- ・市民生活応援窓口での包括的相談支援
- ・小地域ネットワーク活動の推進
- ・地域共生社会の実現に向けた体制の構築
- ・自分の健康を自分で守る環境の整備

※病診・病病連携：病院と診療所（開業医）、病院と病院の連携。病院は、機能により急性期病院、慢性期病院、療養型施設などに分類されているが、主に他の類型同士で連携を図ること。

### ③住みよい都市環境をつくる

住みよい都市環境の形成に向けて、「コンパクト」という本市の特性をより活かすために、誰もが安心して快適に通行できる道路環境や駅周辺エリアの整備を推進します。また、公園や地域の特性を活かしながらみんなが共に考えることで、創意工夫により使いこなすことのできる公園をめざします。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
自転車走行空間の整備（実施延長／計画延長）	H30:35.1%	R6:64.6%
バリアフリー*化された道路の割合(バリアフリー解消箇所数／主要7路線における計画整備箇所数)	H29:30.2%	R6:100.0%
市民一人当たりの市内公園・緑地面積（港湾部管理を含む）	H30 : 5.61 m <sup>2</sup> /人	R6:5.82 m <sup>2</sup> /人
清掃や緑化などの美化活動を自主的に行っているボランティア団体の数	R1 : 19 団体	R6 : 24 団体

※バリアフリー：高齢者や障がい者、妊婦、傷病者などが社会生活を送るうえで、障壁となるものを取り除くこと。

#### ■取組内容

- ・歩行者や自転車の安全への配慮においた道路整備の推進
- ・施設の修繕・改修による公園の整備
- ・市民との協働による公園や市道における緑化・維持管理活動への支援
- ・憩いの場となる公園等の環境整備の推進
- ・駅周辺整備事業の推進
- ・三世代近居・同居支援の検討
- ・市営住宅の建替・集約化の検討

#### ④コミュニティ活動を活性化する

地域コミュニティの活性化に取り組むとともに、市民がまちづくりに参加しやすい環境をつくるために、市民が地域のために自主的に行う公益的な取組の支援や、活動拠点の整備等を行います。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値
市民活動団体として登録している団体数	H30:102 団体	R6:102 団体
がんばる市民公益活動応援補助金交付件数	H30:8 件	R6:15 件

#### ■取組内容

- ・ 地域におけるリーダーの育成
- ・ 市民活動団体等の自主的な活動の促進
- ・ 市民活動団体の情報収集と発信
- ・ 市民との協働によるイベントの実施
- ・ 市民や団体へのまちづくりについての学習の場や情報の提供
- ・ 市民活動拠点の充実
- ・ 自治会の加入促進などのコミュニティ活性化の取組に対する支援
- ・ 地域団体とNPO、企業、大学などとの連携の推進
- ・ **がんばろう基金の積極的な活用**